



大学病院の隙間を埋め、診断困難例の原因を解明する
—詳細な病歴聴取と臨床推論に基づく—

後編

特色ある
診療科紹介
総合内科

総合内科のアプローチ—

7月号(前編)と8月号(後編)にてお届けします

【身体化症状への取組み:自覚のない負荷と身体に関連性】

詳細な病歴聴取を行い、仮説に基づいた身体診察を尽くしてもなお、器質的な異常が見つからない場合も多く存在します。そのようなケースの多くは、日頃の生活習慣や精神的な負荷が関連して生じる「身体化症状」であり、これもまた病歴聴取と身体診察のプロセスを通じて確かめることができます。

多くの検査で異常がないと判明した後であっても、患者様によっては「自分の症状は決して精神的なものではない」「悩みなどないし、思い当たる節がない」「きっと何か重大な病気が隠れているはずである」とおっしゃることがあります。しかし、臨床の現場においては、そのように自分自身の受けている負荷を自覚していない人ほど、身体化症状である可能性が高くなります。

現代社会において、まったく負荷のない人間はいないと考えられます。自分の中では「このくらいは大したことがない」と判断していても、第三者が客観的にみると重度の負荷がかかっていると評価されることも少なくありません。ストレスの小さい・大きいを自分だけの基準で判断している人こそ、このような状況に陥っていることを私たちは経験します。

このように、患者様自身が気づいていない背景にある負荷をうまく見つけ出し、現れている身体的な症状との関連性を見出しながら解決へとつなげていくことも、総合内科が持つ専門的な技術の一つです。

【おわりに】

私たちは、医師が日頃から患者様と築かれている信頼関係を大切に引き継ぎ、詳細な診察と推論によって症状の正体を突き止め、適切な治療やケアへと繋げてまいります。大学病院全体として専門診療科間の隙間を

作らない医療を実現するために、どうぞ附属病院総合内科を

ご活用ください。ご紹介を心よりお待ちしております。(文責：総合内科 濱口杉大)

7月号にて【診断困難例における
「真の原因」とは】および

【診療のポイント】を掲載しています

バックナンバーはこちら



研修会情報

～～ 患者との対話に関する研修 ～～

R8年10月13日(火) 16:00～17:30 場所:講堂

講師:公益財団法人仁泉会 北福島医療センター 名誉院長 志賀 隆 先生

演題:医療メディエーションとは? ～相手の思いに気づく～

対象者:どなたでも(医療従事者、医療関連事業者、行政関係者、学生等)

↑

申込み URL: <https://forms.gle/mVJ5JcmMEyLWgsXM7>

上記2次元コードからも申込みいただけます。



専門・認定看護師紹介 新生児集中ケア認定看護師

総合周産期母子医療センター新生児部門病棟 小野 陽子



当院には4人の新生児集中ケア認定看護師が、NICU(新生児集中治療室)にいます。早産・低出生体重、先天性の疾患のある赤ちゃんに対して①生理的な安定を図るケア・成長・発達を支え促す個別的なケアを実践する②出生直後の親子関係を支援する③退院後の生活を視野に入れた看護ケアの調整することなどが役割です。

ご存じですか？

1.出生率は下がっているけど、NICUに入院する赤ちゃんは減っていない！

早産・低出生体重のほかにも、先天性疾患のある赤ちゃんなど、当院には毎年300人以上の赤ちゃんが入院しています。『出産は病気ではない。元気な赤ちゃんがうまれる』があたりまえではありません。サポートが必要な赤ちゃん・家族がいるのです。

2.医療的ケア児は増えている！

日本の新生児死亡率は低く、世界トップクラスです。しかし、退院後もなんらかの医療的ケアが必要な赤ちゃんがいます。医療的ケアとは？・・・酸素吸入、呼吸器、経管栄養、ストーマケアなどです。全国的に増加傾向で、福島県でも現在300人を超え、5年で1.5倍に増えていると報告されています。



赤ちゃんは、リハビリ等の発達支援方法の変更や、保育や就学の環境を整えていくなど、成長にともなう支援の変化があります。行政や地域のサポートが不可欠です。退院したあとも、赤ちゃんが切れ目なく医療・ケア・支援が受けられるように他職種と連携を深めています。福島県でも

『医療的ケア児支援センター』ができました。



～脳卒中・心臓病等総合支援センターだより～

去る7月26日に相双地区にて「医療従事者等研修会 in 相双」、「県民公開講座 in 相双」を開催しました。40名のご参加いただき、ありがとうございました。当センターでは、今後も下記開催を予定しております。一般市民の皆様をはじめ、医療関係者様、学生様等、どなたでも参加いただけます。是非お気軽にご来場ください。

【会津地区】 R8年9月26日(土) アピオスペースにて「県民公開講座」、「医療従事者等研修会」

【南会津地区】 R8年10月3日(土) 南会津町中央公民館にて「県民公開講座」

【福島地区】 R8年11月3日(火) ホテル福島グリーンパレスにて「県民公開講座」、「医療従事者等研修会」

【郡山地区】 R9年1月23日(土) 【いわき地区】 R9年1月31日(日)

【発行元】公立大学法人福島県立医科大学附属病院 患者サポートセンター (きぼう棟1階)

【連絡先電話】 (代)024-547-1111

Email: tourokui@fmu.ac.jp

(直通) 外来受診申込: 024-547-1074 入退院支援: 024-547-1073 転院相談: 024-547-1054

セカンドオピニオン: 024-547-1026 連携登録医関連: 024-547-1818